

かえる便り 27年度6号

平成27年5月25日

新緑の候、皆様にはますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。

高校総体が近くなりましたが、個人により目標や思いにかなりの温度差があるように感じます。チームとは『ある目的のために活動を同じくする人間の集まり』です。部員の皆が同じ目的・目標を共有して日々努力しているでしょうか？負傷していてもチームを支えることは出来ます。また、試合に出ることが叶わなくても、選手に“よい刺激を与えられる存在”になれます。仲間と鏝を削り、切磋琢磨して己を伸ばし、仲間へ感謝し支えられる存在になるよう指導しますが、自分のことしか考えない行動を繰り返す部員は切り捨てます。

事を^な済すは誠に在り (松陰)

(物事をきちんとやり遂げることが出来るのは、まごころだけである)



人は誰でも悪名を嫌い、名声を好む。小善が積もらなければ名はあられもないが、小人は小善のことを考えない。だが君子は、日々自分に訪れる小善をゆるがせにしない。大善は名声をもたらすが小善は徳をもたらす。世の人は、名を好むために大善を求める。君子は多くの小善から徳をもたらす。実に徳にまさる善事はない。徳はあらゆる大善の源である。これは近江聖人、中江藤樹の『積善』の考えです。

夢は逃げない 逃げるのは自分 目標は逃げないし、山も逃げません。頂き上がる事が出来るのも、目標を達成できるのも自分の心次第です。弱い自分を知っているからこそ、人は努力(準備・実行・反省)をするのではないのでしょうか？

良いサッカーをしたいと思うならば、守備の原則を徹底して守る努力をすることです。堅固な守備が良い攻撃を生み出します。自分のポジションが中途半端な人は、攻守においてチームの力になることが出来ません。己の力を十分に発揮したいと思うならば、先ず守備の原則が実行できる位置と体の向きをとることです。

現代サッカーは考える時間やスペースを与えてくれません。その中で優位にゲームを進めたいのであれば、判断・攻守の切り替えを素早くすることが重要です。時間やスペースを与えないサッカーは、運動量が凄く求められます。方向と力・速度を急激に変えることが必要なのです。変えるのは己の“意志”ですよ！